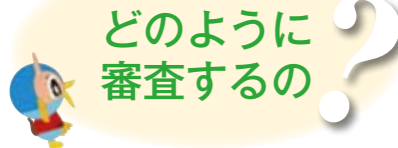


平成22年度決算 市議会が認定



どのように
審査するの？

市の決算は、市長から市議会の審査にゆだねられます。市議会では、議長と監査委員を除く全議員で決算特別委員会を組織し市の予算が適正に使われたかどうかを詳細に審査します。最終的に決算を認めるか（認定）、認めないか（不認定）は議会の議決で決定します。22年度決算については、9月26日～28日に企画総務・生活文教・都市環境の各分科会で事業別に審査、29日に総括質疑を行い、10月24日の臨時議会で議決しました。

企画総務分科会

- 本年4月からスタートしたコンビニ収納のPRに努め、市税や国民健康保険税など未収金の縮減に取り組むべき。
- 地方交付税の穴埋めとして臨時財政対策債（地方債）を発行している。その償還経費は戻ってくるが、地方交付税として国の借金を地方が負担している状況なので、発行は慎重にすべき。
- 公債費負担軽減に今後とも努められ、市債の償還財源を確保し、財政の健全な運営のためにも基金の積み立てを着実に進めたい。
- 市税督促手数料のコストが約480万円に上っているが、費用対効果の面から改善すべき。
- 納税案内センター設置で、市税等の未収金回収に寄与した。引き続き、効果的な徴収に努めるべき。
- 市民病院は4億8900万円の赤字であるが、前年度と比べ1億4000万円の収支改善を達成した。引き続き、経営健全化計画に基づき、コスト削減と経営効率向上に取り組むべき。

生活文教分科会

- 保育所運営保護者負担金の未納額が約1902万円（滞納繰越額約1684万円）であるので、徴収強化すべき。あわせて、徴収事務を保育園ができるよう検討すべき。
- まちづくり協働センターの使用で全額減免の市民団体があるが、高齢者・障害者団体への導入を含め見直すべき。また、4プラザ運営委託は現在単独随意契約であるが、一般公募による委託を実施すべき。
- 姉妹都市（ブルーマウンテンズ市、キティタス郡、済州市）との相互訪問交流事業を再開すべき。
- 高齢者バス・鉄道運賃助成は一律だが、遠隔地に居住する人のニーズがより高いことから地域事情に応じた基準の見直しをすべき。
- 市立小中学校に太陽パネルが設置されているが、光熱水費削減に寄与するためにも売電可能な仕組みにすべき。また、武道場は地域の有能な指導者を登用するなど安全面に配慮すべき。
- 国民健康保険税の未納額が約1億7600万円（滞納繰越額約6億7800万円）であるので、徴収強化すべき。

都市環境分科会

- 焼却灰の処分にかかる請負業務委託では、特定の業者と17年間単独随意契約を交わしているが、市民の理解が得られるよう透明性を図り、見直すべき。
- 三田牛流通振興協議会のホームページがリニューアルされたが、フェイスブックを併用してPRに努めるべき。
- 三田の魅力アップのため、「川本幸民まつり」だけでなく、白洲次郎・正子夫妻など多様な魅力発掘に創意工夫していくべき。
- フラワータウンの駐輪場経営は毎年赤字であるので、解体・売却を検討すべき。
- 消防団員の平均年齢が上昇する中、女性サポートクラブを含め合理的な仕組みを構築していくべき。また、はしご車などの救急車両の適正な更新を進めていくべき。
- 水道料金の値下げは評価できるものの、兵庫県企業庁が定める供給単価が依然として全国平均より高いため、引き続き単価引き下げの要望をしていくべき。

決算審査の結果

議員数=24名 表決参加議員数=22名 表決不参加議員=1名 ※議長は表決に加わりません。

<10月24日> 9月定例会に市長から提出された、認定議案11件について議決しました。



議案名	賛成	反対
平成22年度三田市一般会計歳入歳出決算	【真正会】森本政直、北本節代、家代岡桂子 【志民の会】田中秀典、野上和雄、美藤和広、檜田充、坂本三郎 【自由民主党】笠谷圭司、酒井一憲、前中敏弘 【新政みらい】肥後淳三、田中一良、厚地弘行 【公明党】松岡信生、平野菅子 【盟友会】福田秀章、今北義明 【無党派】佐貫尚子	【日本共産党】長尾明憲、長谷川美樹、中田初美

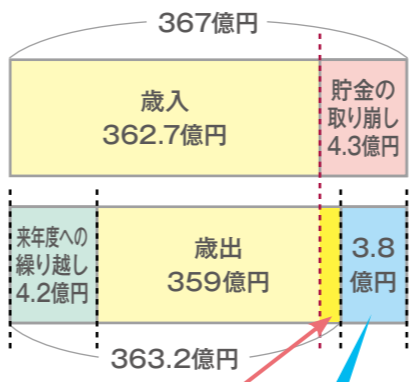
全議員が賛成した認定議案	賛成	反対
平成22年度三田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	平成22年度三田市農業共済事業特別会計歳入歳出決算	
平成22年度三田市下水道事業特別会計歳入歳出決算	平成22年度三田市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算	
平成22年度三田市公営墓地整備事業特別会計歳入歳出決算	平成22年度三田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	
平成22年度三田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	平成22年度三田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	
平成22年度三田市市民病院事業会計決算	平成22年度三田市水道事業会計決算	

- ### × 反対討論
- 重度障害者医療助成制度、母子家庭医療費助成制度により、家庭の医療費を圧迫。
 - 父子家庭、遺児家庭への福祉金の廃止。
 - 地域振興株式会社からキッピーモール6階フロアの借り上げ（1億300万円）。
 - 人権施策の特定地域への偏り。

- ### ○ 賛成討論
- 決算の黒字化達成。
 - 福祉金廃止やキッピーモール借り上げは計画通りの適切な執行。
 - 特定地域の人権施策は必要。

結論

一般会計決算は
歳入（入ってきたお金）
367億円から
歳出（使ったお金）
359億円と
翌年度に繰り越す事業のお金
4.2億円を引くと
3.8億円の黒字？
のようですが、内訳は…



黒字決算？
歳入には財政調整基金（貯金）の取り崩しを含んでいるため、これを省くと…
0.5億円の赤字
になってしまいます。

表決

平成22年度決算11件は、決算特別委員会で審査し、10月の臨時会で議員からの反対意見、賛成意見が表明された後に、表決しました。結果は、一般会計決算など1件が賛成多数で、その他の10件については全員一致で認定されました。

「東日本大震災」 議員による 街頭募金を贈呈



▲左から三田市社会福祉協議会島村敏夫会長、関口正人議長（当時）、美藤和広副議長（当時）

東日本大震災被災地支援の一環として、4月から8月までの毎月11日、5回にわたり議員による募金活動を行いました。皆さんから寄せられた義援金合計130,140円は8月19日に正・副議長（当時）から三田市社会福祉協議会会長に手渡しました。義援金は三田市社会福祉協議会を通じて、社会福祉法人中央募金会に送られます。

永年勤続表彰

- 6月に全国市議会議長会から、次の議員（前議員含む）が、長年の実績を認められました。
- 15年表彰 家代岡桂子 議員（真正会）
 - 10年表彰 *表彰は辞退、藤原 美津雄前議員は本年5月にお亡くなりになりました。
酒井 一憲 議員（自由民主党） *藤原美津雄 前議員（公明党）
城谷 恵治 前議員（日本共産党） *松岡 信生 議員（公明党）
関口 正人 議員（真正会） *平野 菅子 議員（公明党）

12月定例会の予定

11月	12月	12月定例会の予定					
月	火	水	木	金	土	日	
11/14	15	16	17	18	19	20	
				第314回 定例会告示			
21	22	23	24	25	26	27	
10:30 議会運営委員会							
28	29	30	12/1	2	3	4	
	10:00 本会議(第1日) 市長提案理由説明	請願・陳情		10:00 議会運営委員会			
5	6	7	8	9	10	11	
		10:00 本会議(第2日) 一般質問(代表)	10:00 本会議(第3日) 一般質問(代表)	10:00 本会議(第4日) 一般質問(個人)			
12	13	14	15	16	17	18	
10:00 常任委員会	10:00 常任委員会	10:00 常任委員会		10:00 本会議(第5日) 表決			

*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議、運営委員会は市役所本庁舎2階三田市議会で開催します。